



# 第1回道路ルネッサンス研究会

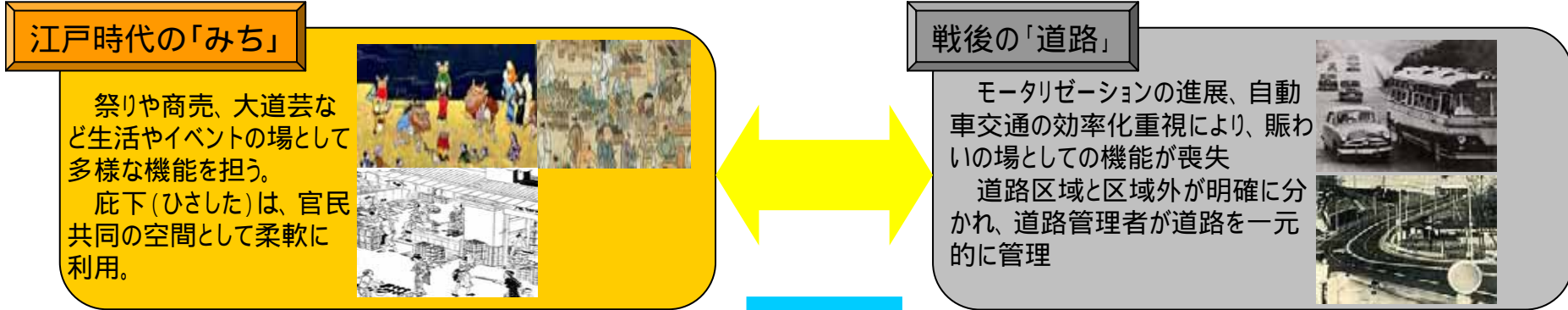
国土交通省道路局



# 目次

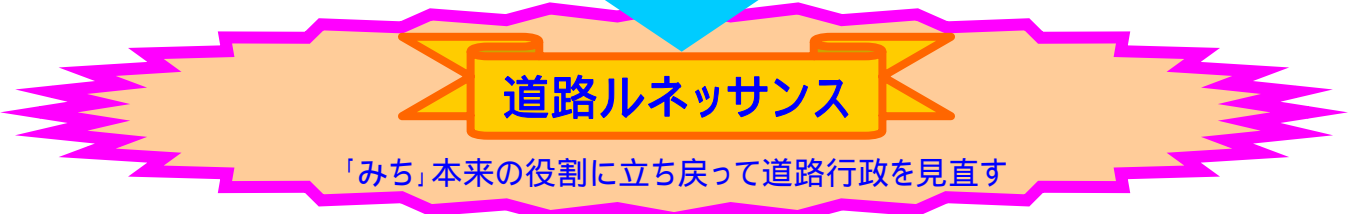
- 1 . 道路ルネッサンス研究会設置の背景と  
検討の視点 ..... 1
- 2 . 道路ルネッサンスに関する取組み事例  
..... 14
- 3 . 本研究会における主な検討課題  
..... 37

# 1. 道路ルネッサンス研究会設置の背景と検討の視点



出典:国土交通省資料

国民のニーズの多様化    国民の参加意識やボランティア意識の高まり    情報社会の進展



**< 道路ルネッサンス研究会の視点 >**

みちの持つ多様な「機能」の発揮  
 (賑わい、情報発信、交流、風景等)

多様な「主体」の参加による「公」の復権  
 (「官vs民」 「公-私」の関係の確立)

道路区域という「空間」とらわれない新しい関係の構築  
 (地域との一体性の確保)

# 江戸時代のみち



「朝鮮人来朝図」



きだいしょうらん  
「熙代勝覧」



「江戸図屏風」

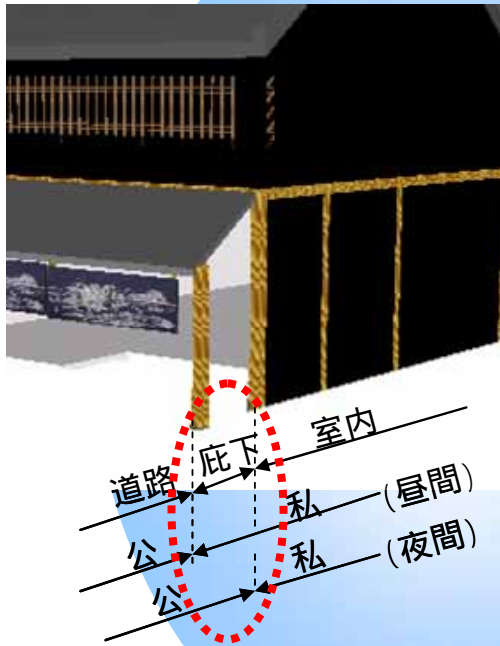
祭や商売、大道芸等を行い、また、人が集まり遊ぶ生活空間となっていた

我が国の「みち」は、例えば欧州における「広場」のように、生活やイベントの場として多様な機能を担っていた

# 江戸時代のみち

江戸時代、庇下(ひさした)は“半官半民”の柔軟な使われ方をしていた。

< 官民共同で利用した道 >

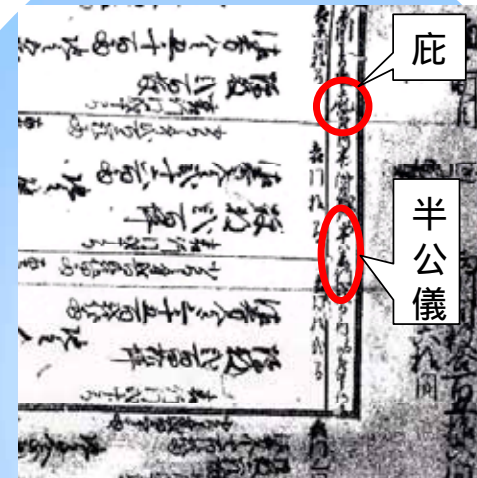


庇下は、昼間は店舗の一部(私)、夜間は道(公)として利用された



庇下での商売の様子

< 庇下に関する町触<sup>まちぶれ</sup>\* >



「沽券絵図」

江戸町奉行の命令で作成された沽券絵図(地籍図)にも、庇下は半公儀地(半分は公の地)と記載

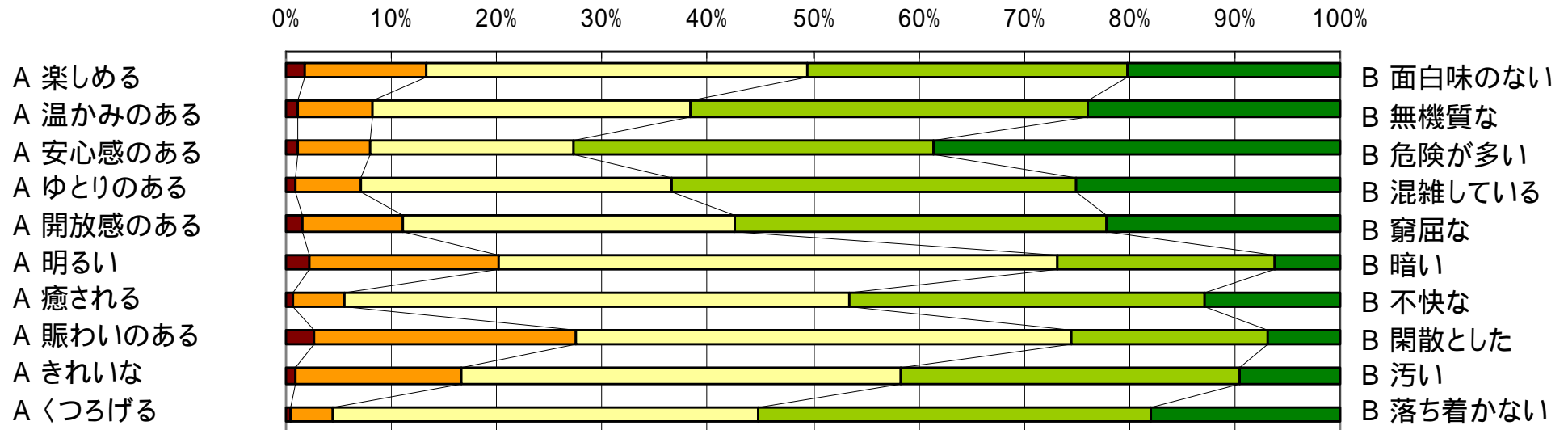
当時(江戸時代)の庇下は、半分为公の地と法令で定められていた

\* 幕府や大名が町方に布告した一種の法令

# 現代の「みち」に対するイメージ

- 道路に対するイメージは、危険、無機質、落ち着かないなど、どちらかといえばネガティブなものが多い

Q あなたが道路に対してもっているイメージは、以下の表現のいずれに近いですか？



■ Aに近い ■ どちらかというともAに近い □ どちらでもない ■ どちらかというともBに近い ■ Bに近い

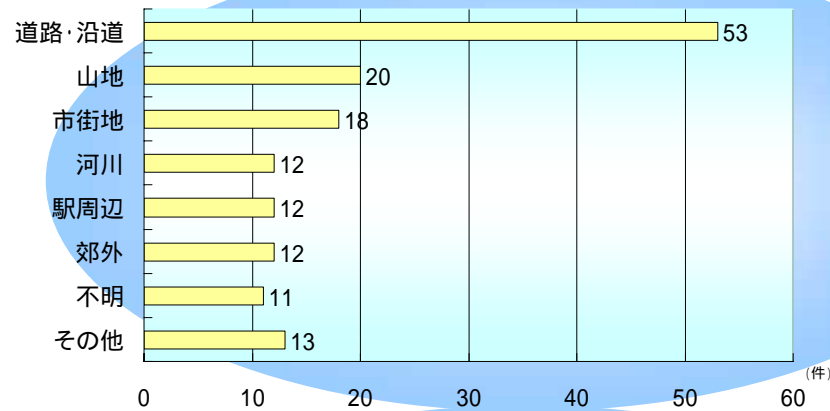
インターネット調査により、20-69歳の男女のサンプルを抽出(人口、居住地を国勢調査に合わせ補正)  
 調査期間: 2006年1月20日～24日  
 有効サンプル数: 1,174件

# 国民のニーズの多様化

(現代の生活における「みち」へのニーズ)

例1: 沿道との一体的取り組みが求められる景観向上

## <好ましくない景観>



道路・沿道の景観が、突出して好ましくないとされている

## <残したくない景観例>

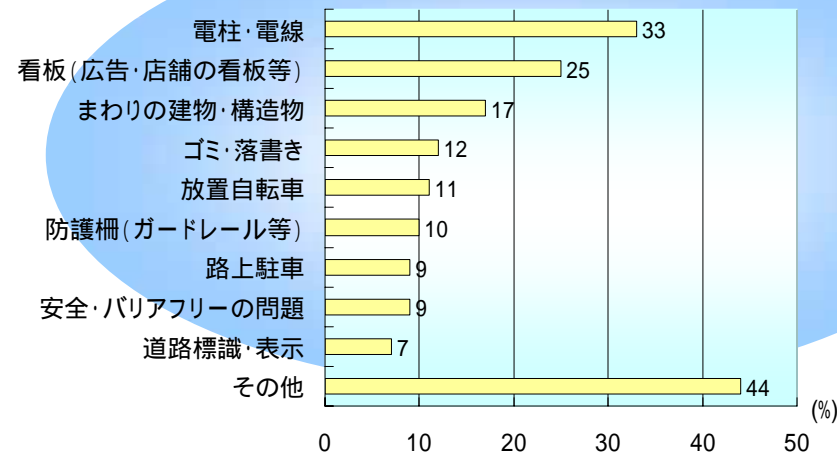


乱立する看板・電柱



違法看板

## <残したくない景観>



看板や建築物など沿道の課題や、放置自転車や落書きなど道の使われ方にも課題が少なくない

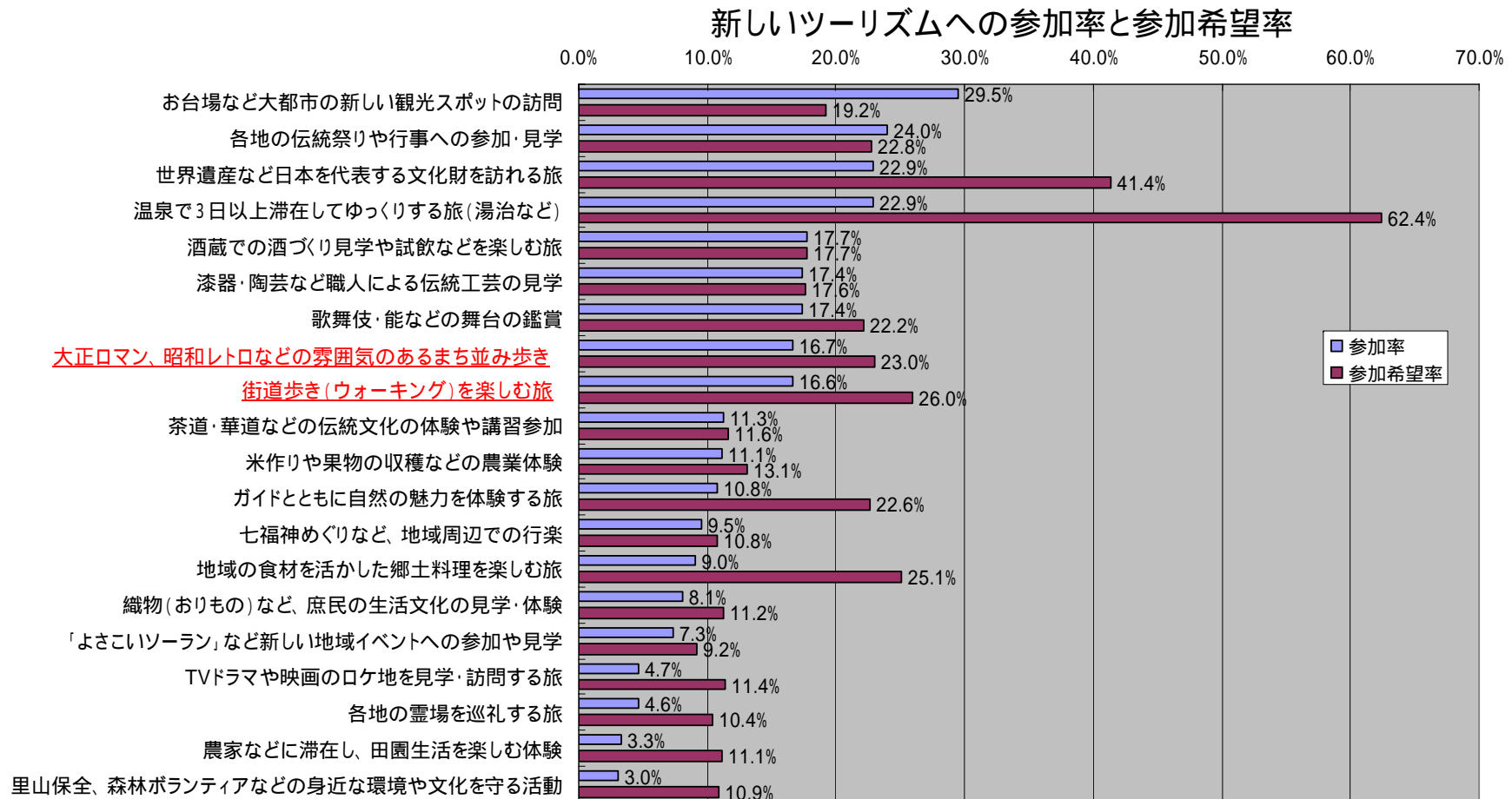


壁への落書き

# 国民のニーズの多様化 (現代の生活における「みち」へのニーズ)

## 例2：日常を体験する観光へ

- 今後のツーリズムにおいては、温泉や世界遺産とともに街並み歩きや地域の魅力を体験する旅が注目されている



出典 「レジャー白書2005」(財)社会経済生産性本部





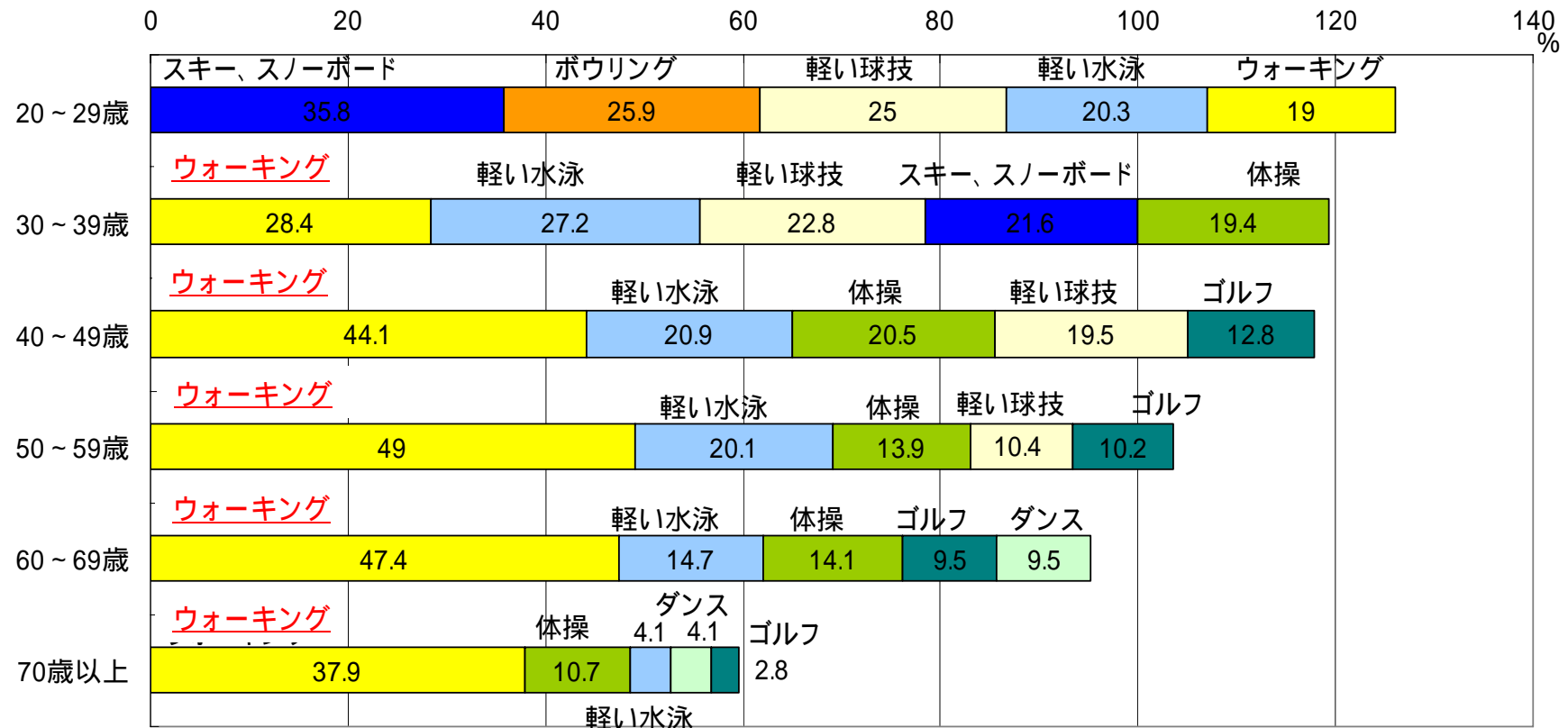
# 国民のニーズの多様化

(現代の生活における「みち」へのニーズ)

例4：健康、余暇、安らぎの指向に応える

## ■ 団塊の世代におけるウォーキングの人気

Q 今後行ってみたい運動・スポーツの種目(複数回答・上位5項目):年代別



# 国民の参加意識やボランティア意識の高まり (未知普請活動の進展)



御堂筋パレードに幼稚園児が未知普請号に乗って参加



堀川女性会による清掃活動  
(国道1号 曾根崎通り)



「公」

対話と協働

参加と責任

未知への挑戦

個

個

個

未知普請クリーン活動状況  
(地元団体と連携した道路清掃)



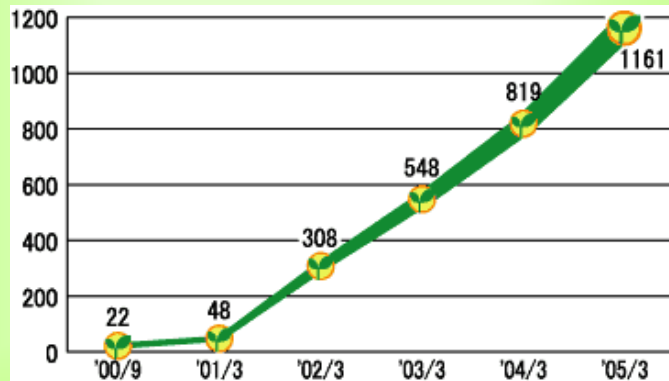
「阿智村婦人会」による活動  
(下伊那郡阿智村での活動)



# 国民の参加意識やボランティア意識の高まり

## 【参加団体数】

ボランティアサポートプログラムの参加団体は年々増加している。



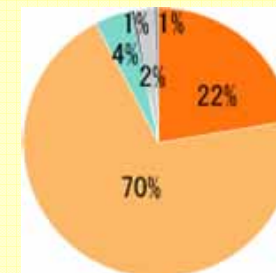
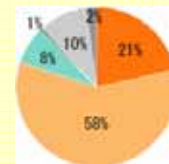
## 【参加者の感想】

活動に対する満足度は高い。

Q1. 活動に対する満足度は、いかがですか？

H13年(195件)

H15年(527件)



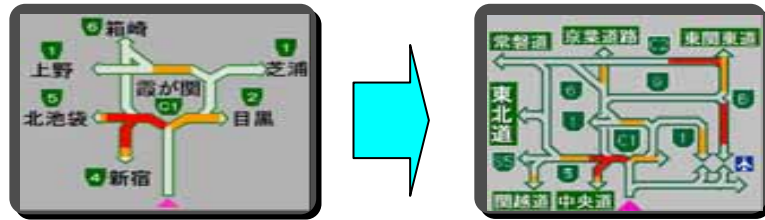
- a. 非常に満足している
- b. ほぼ満足している
- c. やや不満
- d. 非常に不満
- e. 分からない
- 無回答



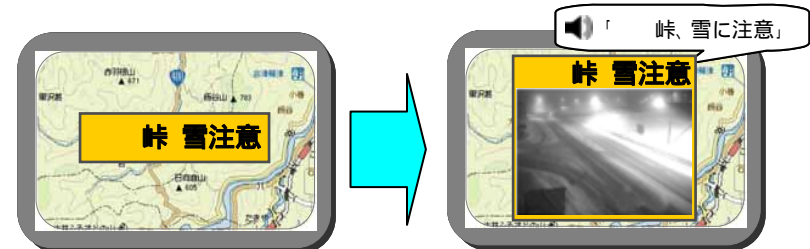
# 情報社会の進展 (ITS 推進に関する取組 )

## 2007年を目指したITSサービス

### 新道路情報提供サービスイメージ



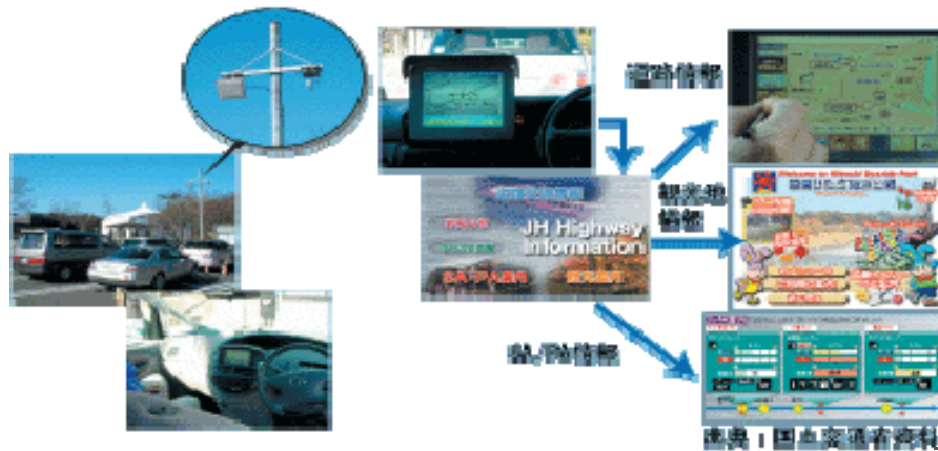
情報提供の広域化・精緻化



音声・画像によるわかりやすい情報提供

### 多様なITSサービスの実現

多言語カーナビ・道路交通情報提供 インターネット接続  
 道の駅での情報提供 駐車場ゲートのスムーズな通過



2007年ころには



# 情報社会の進展 (ITS 推進に関する取組 )

## さらなるITSサービスへの取組

### 道路管理の高度化

情報基盤を構築し適切な情報提供による防災  
対策の強化・高度化  
特殊車両管理への応用

### 落石探知システム



斜面の防護ネットやフェンスに落石を感知するシステムをつけます。

### 安全走行支援 (AHS : 走行支援道路システム)

カーブでの安全走行情報提供等による事故削減

民間駐車場等への応用による利便性向上



首都高速4号新宿線(上り)参宮橋カーブ区間

「AHS : 走行支援道路システム」とは、道路とクルマが連携し、センサや路車間通信等の技術を駆使して交通事故や渋滞の削減を目指すシステム

# 情報社会の進展 (ITS 推進に関する取組 )

## ITSとIT新改革戦略(IT戦略本部決定)について

### ( 1 ) 体制・メンバー

#### IT戦略本部

本部長	小泉 純一郎	内閣総理大臣
副本部長	松田 岩夫	内閣府特命担当大臣(科学技術政策・食品安全)情報通信技術(IT)担当
	安倍 晋三	内閣官房長官
	竹中 平蔵	総務大臣
	二階 俊博	経済産業大臣
本部員	杉浦 正健	法務大臣
	麻生 太郎	外務大臣
	谷垣 禎一	財務大臣
	北側 一雄	国土交通大臣 他9名
(有識者)	伊丹 敬之	国立大学法人一橋大学大学院商学研究科教授
	清原 慶子	三鷹市長 他6名

### ( 2 ) IT戦略本部の経緯

H13.1.6

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)を内閣に設置



H13.1.22

e-Japan戦略を決定



H15.7.2

e-Japan戦略 を決定



H18.1.19

IT新改革戦略

### ( 3 ) ITSに関連する記述

- 2006年度早期に、安全運転支援システムの実用化に係る官民一体の連携会議を設立
- 2008年度までに、官民連携で安全運転支援システムの大規模な実証実験を実施
- 2010年度から、安全運転支援システムを事故多発地点を中心に全国展開